

平成23年 6月30日

川崎市議会議長 大島 明 様

川崎区

川崎区地域教育会議

川崎区に冒険遊び場・子ども夢パークを作ることにする請願

請願の趣旨

現在、高津区久地に冒険遊び場＝子ども夢パークがあります。ここではしつらえの遊具こそありませんが、地面に穴を掘ったり、火を起こしたり、手作りの滑り台に水を流して滑ったり、廃材にくぎを打って何かを作ったり、泥んこになったりして遊ぶことができます。初めて行った川崎区の子どもたちは、最初は遊び方が分からず戸惑いましたが、最後にはこの近くに住んでいる子がうらやましいと言って、帰りたがりませんでした。

川崎区には大人の遊び場やゲームセンターはたくさんありますが、自然環境も乏しく、思い切り野外遊びのできる場所は多くありません。一昔前の子どもたちは、今の物の豊かさとは比較にならないほどの貧しいものでしたが、走り回ることでできる空き地や隠れ家には事欠きませんでした。野山を駆け回り、虫や動植物に四季を通じて触れ合う環境もふんだんにあり、それが子どもたちの豊かな感情を育て、遊びの中で創造力をかきたててきました。高度経済成長の結果、とりわけ都市部ではこうした自由に遊ぶ環境が激減しました。

子どもの遊びは学びということを聞きます。いたずらや冒険心が子どもの生きる意欲を伸ばします。野外でへとへとになるまで遊んだ経験。その後の気持ちよさを知っている子が少なくなっています。ストレスをうちにためて発散できない子が多くなっているような気がします。今、改めて遊びの環境を問い直す必要があるのではないのでしょうか。

ところで富士見公園一帯の周辺整備計画があると聞いています。労働会館側には大きな緑地帯が構想されています。南東部には市民広場、子ども広場が現存するままで図示されています。そこに小さな森を作って、せめてトンボ、蝶、セミ程度の生き物と触れ合えるような自然環境を作ってはどうか。

またこのエリアに、野外遊びの拠点となるログハウス風の小さな建物を配置し、周囲に水遊び、土いじりができるようにしてはどうか。ハウスの中には子どもたちの遊びやいたずらの創造性を刺激する素材や道具、昔遊びの小物、遊びの知恵の詰まった諸物を収納します。

ここを拠点に川崎区全域の新しい遊びの環境を再生していくような、多摩川・東扇島公園まで視野に入れた新しい遊び場のネットワークも展望できるのではないのでしょうか。

東日本大震災を経験した今、私たちは本当の豊かさとは何か、次の世代にどんな環境を残してあげるのかを考えたいと思います。冒険遊び場、日中思いっきり体を動かしへとへとになるまで遊べる環境を、子や孫に残してあげませんか。ぜひ、川崎区にも冒険遊び場、子ども夢パークを作ってください。

請 願 項 目

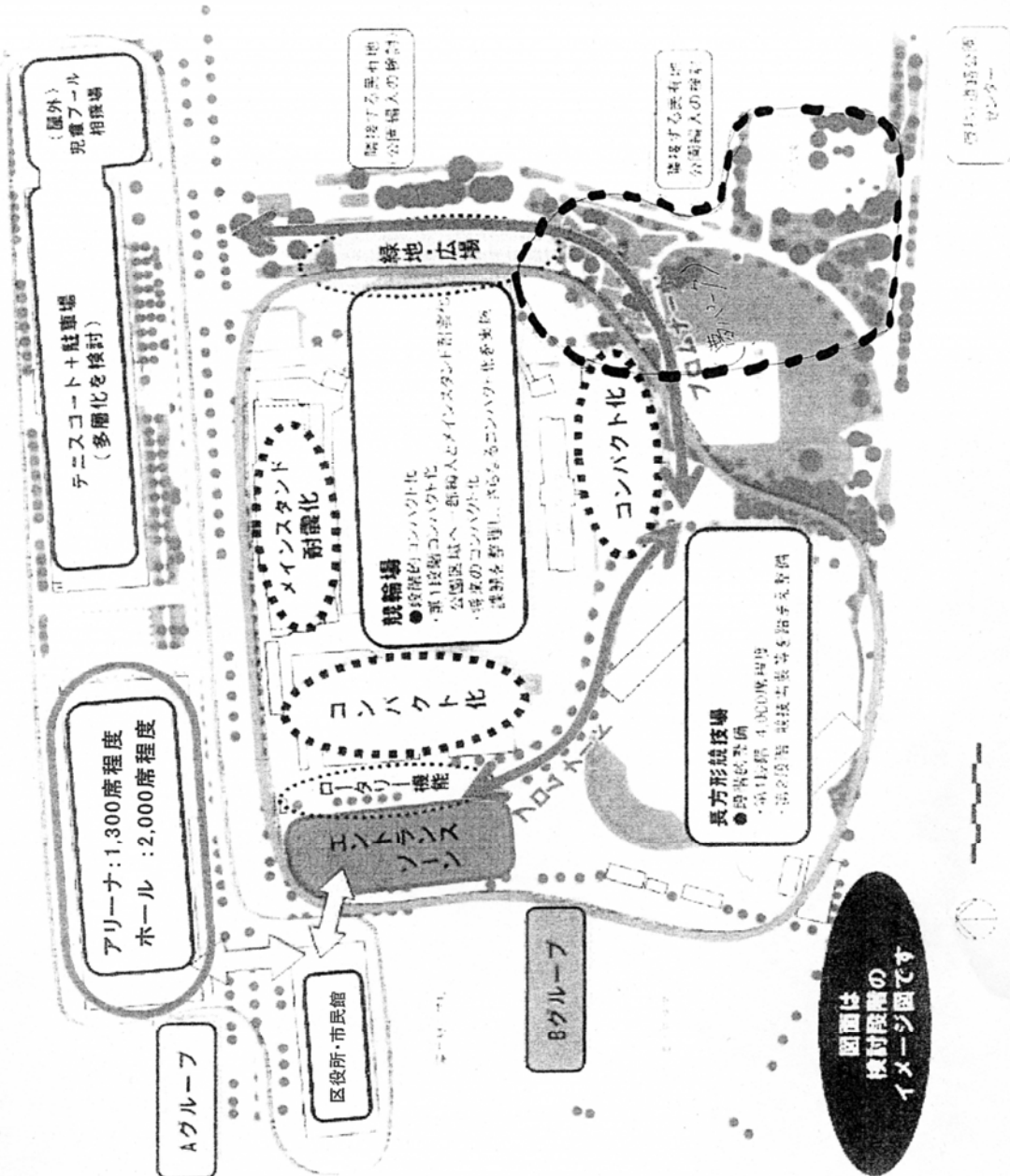
- 1 富士見公園内での冒険遊び場エリアを設置してください。
- 2 活動拠点としての小さな家を建ててください。
- 3 子ども遊びを見守る有償のプレイリーダーの配置をお願いします。
- 4 建設、運営について市民、子どもたちの意見を聴く機会を設けてください。

紹介議員

山 崎 直 史
浜 田 昌 利
飯 塚 正 良
佐 野 仁 昭
松 川 正二郎
猪 股 美 恵

「富士見周辺地区整備基本計画に基づき、今後の整備計画の考え方による基本配置イメージ図」

平成20年3月策定の「基本計画」では、体育館に大小のアリーナを作り、アリーナと教文のホール機能を兼用する案でした。この間、多くの皆様の意見を拝聴することにより体育館は、アリーナと専用文化ホールを併設する形で整備する方向になりました。



今年度中に、
整備実施計画の策定が予定されています。
多くの方のご意見を募集しています。

詳細については、
北側入口のパンフレット置き場の
整備の考え方【概要版】をご覧ください。